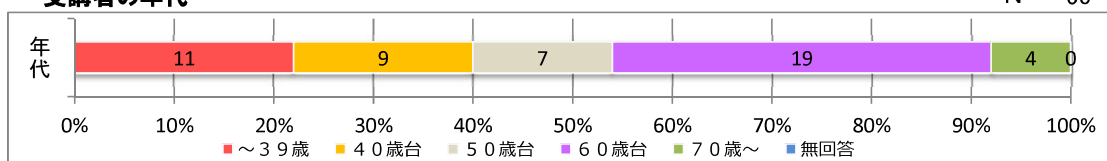


令和2年度情報メディア対応能力養成講座アンケート集計結果

【受講者アンケート集計(選択回答)】※沿岸(陸前高田市)、県南(北上市)、県央(盛岡市)の3会場の結果
 ※ N = 50 (3会場来場参加者 52名 アンケート回答50名)

1-(1)-ア 受講者の年代

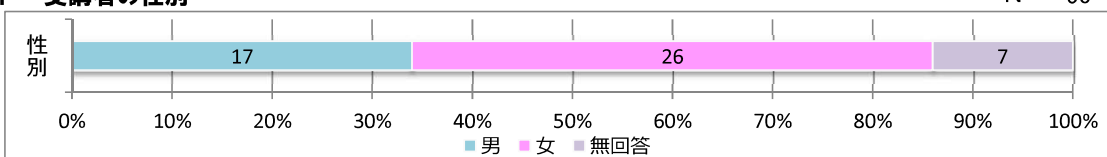
N = 50



60歳代の参加者が全体の38パーセントと多く、70歳代が28パーセントと続く。現役世代(～50歳代)の参加者は全体の33パーセントとなっている。(無回答除く)

1-(1)-イ 受講者の性別

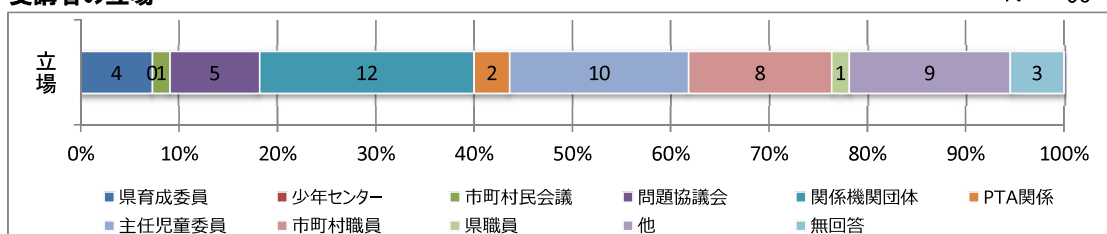
N = 50



無回答を除けば、女性が過半数を占める。

1-(2) 受講者の立場

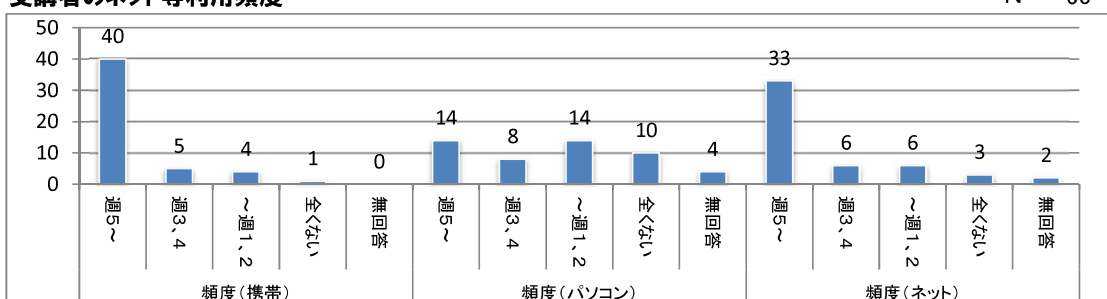
N = 50



各地域で青少年の健全育成活動に携わる方々の参加が多く、次いで、関係機関団体や主任児童委員の割合が特に多かった。その他の多くは市町村青少年育成委員や少年センターの補導委員等であった。

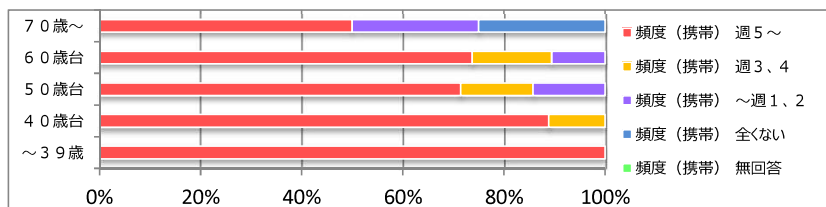
1-(3) 受講者のネット等利用頻度

N = 50

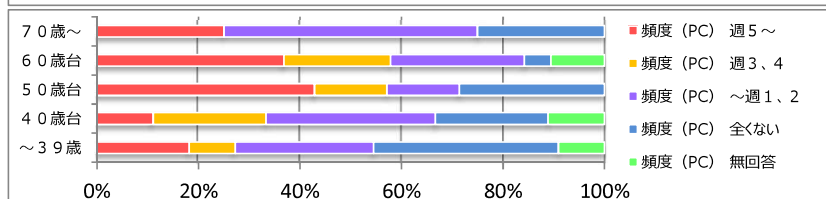


受講者全体の8割が携帯電話を週5回以上利用。

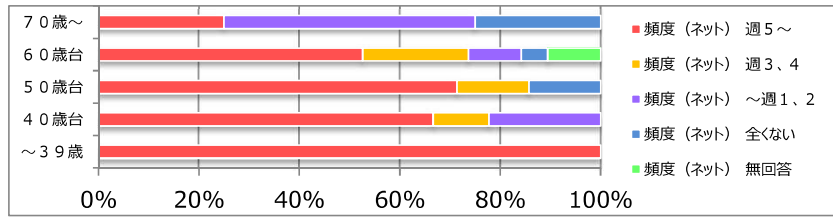
年代別に携帯電話・スマートフォンの利用頻度をグラフ化したところ、ほぼ全般的に高い傾向にあり、高齢者でも40パーセント以上は毎日のように利用している。



パソコンでは、50歳代の利用頻度が最も多く、高齢になるにつれ利用頻度は低下する。39歳以下、40歳台も利用頻度は少ない。
 ※仕事以外でのパソコン利用



インターネット利用頻度では、特に「週5回以上」の項目で、30～60歳台の利用頻度が過半数に達している。



1-(4) 受講者と同居の青少年の有無

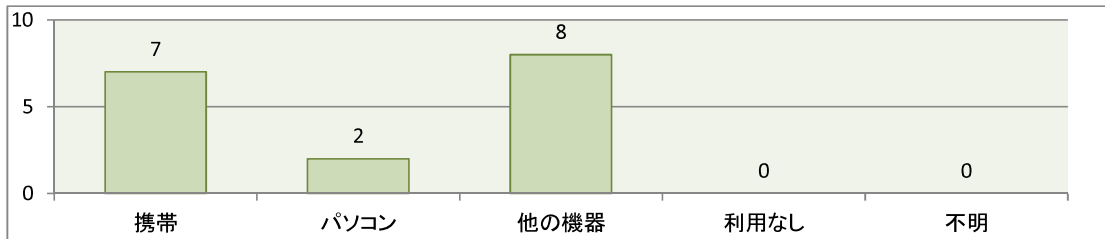
N = 50

同居している	12
同居していない	37
無回答	1

受講者のうち、青少年(6~17歳)と同居しているのは、全体の約3割であった。

1-(5) 同居する青少年のネット利用状況(1-(4)「同居している」中、複数回答)

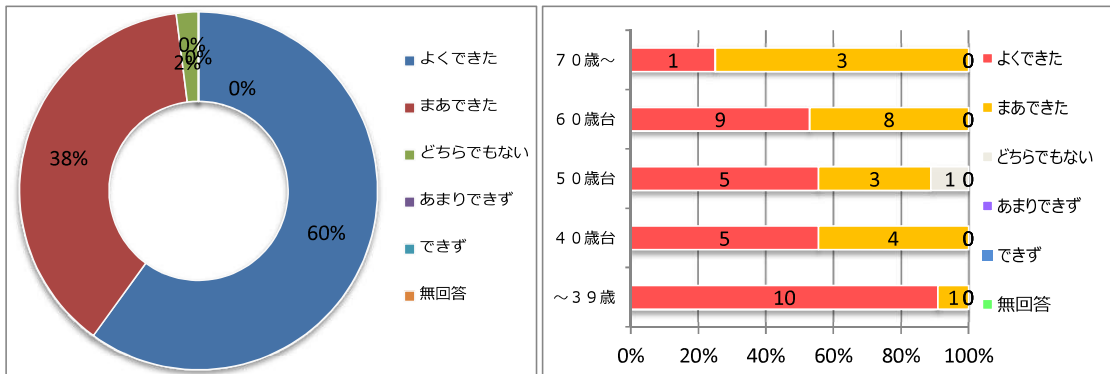
n = 12



同居する青少年のネット利用形態を尋ねたところ、青少年に携帯電話・スマートフォンの利用を認めている世帯が多かった。他の機器はゲーム機等である。

2-(1) 受講者自身が講義内容を理解した実感(理解できましたか)

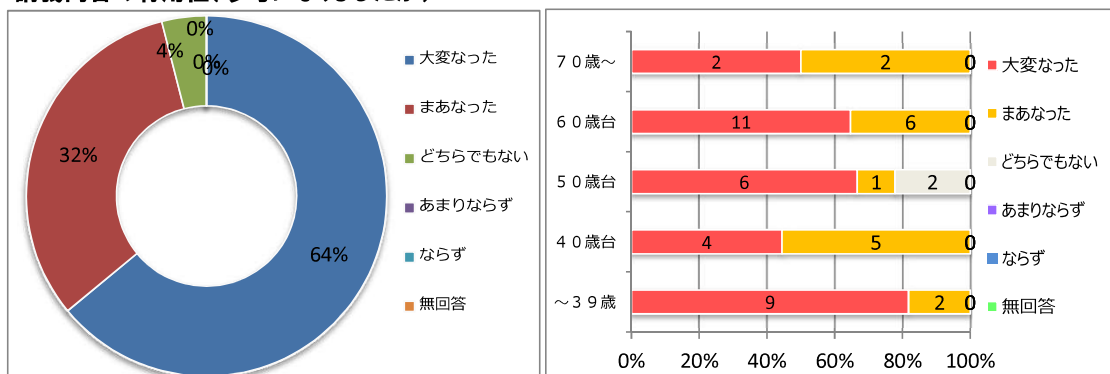
N = 50



講座の理解度については、肯定的な意見が全体で98%と高い割合を占めたが、「よく理解できた」の回答は年代を重ねるごとに減少する傾向は、これまでと変わらない。

2-(2) 講義内容の有用性(参考になりましたか)

N = 50



講座の有用性に関しても全体の96%が肯定的であった。講師が準備したタブレットを使用しての演習や、医師による専門的な知見からの「ネット依存」の講演などにより、参加者からは「操作体験がよかった」、「わかりやすい内容だった」という自由記述が多かった。わかりやすく、現代の課題に即した内容と方法を今後も工夫することで、参加者の誰もが各地域での広報マンになれるような講座にする必要がある。

3-(1) 講座への感想・意見等（自由記述）

- ・父母の方々にも聞いて、知ってもらいたい。（沿岸会場・主任児童委員）
- ・勉強になった。該当する親（PTA等）も学ぶことができればよいと思う。（沿岸会場・主任児童委員）
- ・現代社会の現状についてよくわかった。（沿岸会場・主任児童委員）
- ・今時のことを聞くことができ大変参考になった。警察の方の話の中で、少年の犯罪は大減しているということにおどろいた。（沿岸会場・主任児童委員）
- ・インターネットは怖いという感じがした。（沿岸会場・主任児童委員）
- ・遠方ではなかなか参加が難しく、気仙の会場だったので参加できた。何年かに一度は気仙でやってもらえるとありがたい。（沿岸会場・主任児童委員）
- ・若いゆえに間違いも起こしやすい。どう指導してあげられるか考えさせられた。（沿岸会場・主任児童委員）
- ・子どもたちを取り巻くネット状況やネットを介しての犯罪被害について、丁寧にお話しいただいた。（沿岸会場・主任児童委員）
- ・課題や対応についてお話を伺い、とても理解できるのだが、現実的にゲーム依存やネット依存に伴う不登校等が増えている現状に対し、より効果的な現実策（対応方法）はどんなものが考えられるのか・・・悩み多しである。（沿岸会場・青少年育成機関・団体関係）
- ・実例の話が聞けて良かった。今後の活動に活かしたい。（県南会場・県青少年育成委員・主任児童委員）
- ・「ゲーム依存」の子どもたちへの対応は、日々の仕事の中で頭を悩ませていること。今日はたくさん勉強することができた。（県南会場・県青少年育成委員）
- ・中学2年生の娘との付き合い方に悩んでいた（ネット依存気味）。講座内容を参考に頑張りたい。（県南会場・一般県民）
- ・ゲーム依存についてのお話は、具体的でとても勉強になった。（県南会場・市町村青少年対策主管課）
- ・内容がよく理解でき、大変良い講座であった。（県南会場・青少年育成機関・団体）
- ・ネット依存の状態は、不登校、ひきこもりに類似している部分が多いと感じた。（県南会場・市町村青少年育成委員）
- ・せいわ病院の先生の内容が盛りだくさんで興味深かったです。（県南会場・一般県民）
- ・ネットは現代に欠かせないツールだが、悪い影響も深刻だと思った。（県央会場・市町村青少年問題協議会）
- ・自分自身はそれなりに調べたりして自衛しているが、子どもたちにどのように伝えるか、難しいと感じていたところで今回受講できてとても参考になった。（県央会場・市町村青少年問題協議会）
- ・実際にタブレットを使いながらの実習がよかった。資料を読むだけではわからないことがあるので、いい機会となった。（県央会場・県青少年育成委員）

3-(2) 今後、取り入れてほしいテーマについて（自由記述）

- ・今回のテーマを引き続き（沿岸会場・主任児童委員）
- ・子どもを持つ親世代の情報リテラシーについて（沿岸会場・市町村青少年問題協議会）
- ・ネット依存の話（沿岸会場・主任児童委員）
- ・支援者（見守り役）として、どのように関わっていくべきか（県南会場・主任児童委員）
- ・「LINE」など、メディアのコンテンツごとに潜む問題を掘り下げて提示していただければ助かる（県南会場・青少年育成機関・団体）
- ・ネット依存の実態のそれぞれのケースについても聞いてみたい（県南会場・青少年育成機関・団体）
- ・「ネット依存」について事例を含めた集中した内容を取り入れてほしい（県央会場・青少年育成